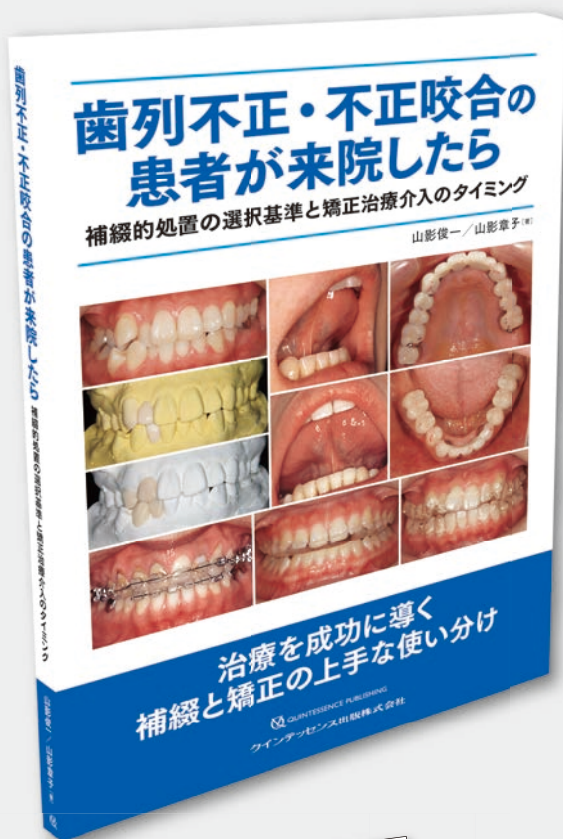


# 歯列不正・不正咬合の 患者が来院したら

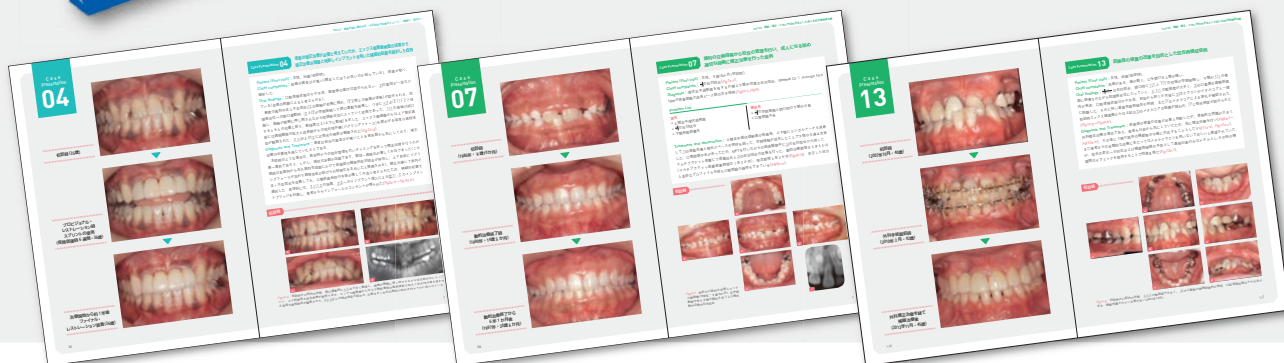
## 補綴的処置の選択基準と矯正治療介入のタイミング

山影俊一／山影章子 [著]



### こんな「歯列不正・不正咬合」 どうしよう！

歯列不正・不正咬合の患者さんが来院したら、  
どう治療しますか？  
どこまで補綴的処置を行えば良いのか、  
矯正治療は必要か？  
機能的、審美的を回復できるのか？  
スプリントやナイトガードを  
使用するべきか？  
咬合の長期安定性は確保できるのか？



# Contents



## Part 01 患者が描く歯列不正・不正咬合の治療のイメージ —補綴か、矯正か—

### 患者が望む治療方法 —補綴的なアプローチか矯正的なアプローチか—

Case Presentation 01 患者は111の正中離開に対する治療を希望したが、具体的な治療方法については何も言及しなかった症例

Case Presentation 02 歯科医学的には矯正治療の適応と考えられる歯列不正・不正咬合であったが、患者が補綴的なアプローチを希望した症例

Case Presentation 02を矯正治療の視点から考える

Case Presentation 03 Case Presentation 02と歯列不正・不正咬合のタイプはよく似ているが、患者は若年期に矯正治療を希望した症例

Case Presentation 04 患者は矯正治療が必要と考えていたが、エックス線画像検査の結果から矯正治療は困難と判断しインプラントを用いた補綴的処置を選択した症例

Case Presentation 04を矯正治療の視点から考える

Case Presentation 05 患者の希望を叶えるには111の補綴のみでは限界があった症例

Case Presentation 06 患者のイメージする治療と実際に行うべき治療が大きく乖離していた症例

## Part 02 補綴・矯正・ときに外科を手法として用いる咬合再構成治療

### Chapter 01 小児、若年期の歯列不正・不正咬合の治療

Case Presentation 07 歯列の交換時期から咬合の管理を行い、成人になる前の適切な時期に矯正治療を行った症例

Case Presentation 08 歯列の交換時期から咬合の管理を行い、成人になる前の適切な時期に矯正治療を行い、さらに先天性欠如に対してインプラントを用いた補綴的処置を行った症例

### Chapter 02 補綴学的な概念を加えた成人の歯列不正・不正咬合の治療

Case Presentation 09 咬合維持の症例

Case Presentation 10 上顎左右側切歯の先天性欠如とその部を補う再補綴治療希望のSkeletal CL-I long faceに対して咬合修正した症例

Case Presentation 11 オーバージェットの大い上下顎の空隙歯列弓を有するSkeletal CL-I Long faceの成人男子で多数歯の補綴処置前提の症例

Case Presentation 12 上下顎の抜歯後、インプラントを用いたクラウン・ブリッジ補綴とMTMを適用し、全顎的な咬合再構成治療を行った症例

Case Presentation 13 前歯部の被蓋の改善を目的とした咬合再構成症例

### Chapter 03 咬合再構成時の顎位の確認・修正

Case Presentation 14 スプリントによる下顎位の修正後、矯正治療と補綴治療を併用した症例

Case Presentation 16 スプリントでの顎位の修正がそのまま咬合再構成となった症例（目にみえない不正咬合の症例）

Case Presentation 15 矯正治療後に左側顎関節部に関節雑音が発現し、スプリントによる下顎位の修正を行った症例

きりとり線

## 注文書

### 歯列不正・不正咬合の患者が来院したら 補綴的処置の選択基準と矯正治療介入のタイミング

モリタ商品コード:208040748

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。